今日のプレゼンのゴール

子供の消費税をとらず 駄菓子屋さんが 頑張っていることを 知ってほしい

駄菓子屋さんとは

宇治の大阪屋マーケットにある 駄菓子屋タイムスリップ



プロジェクトの全体像



- フレークシールを売る
- 売ったお金を駄菓子屋のためにつかう

プロジェクトのきっかけ・理想像



理想像

駄菓子屋さんが喜んでくれる

きっかけ

子供の消費税はとっていないのがやさしくていいなと思った

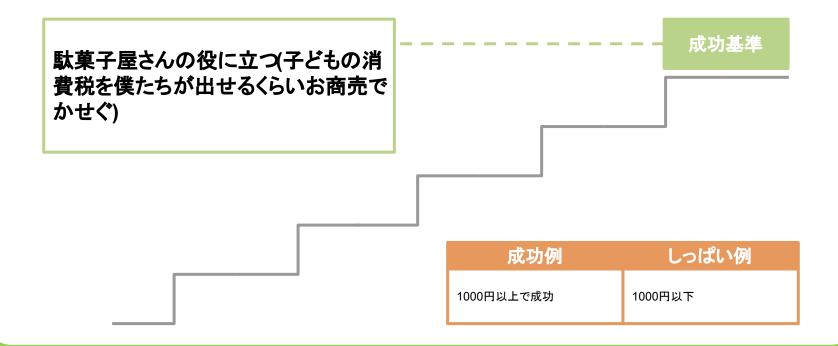


宇治市をどんなことでちょっとよくするか



駄菓子屋さんの役に立ちたい!

プロジェクトの成功基準



プロジェクトでやったこと





だがしやタイムスリップさんへまえはフィールドワークありがとうございました。 私はフレークシールを作って、子どものしょうひぜいにお金を送りたいと思います。フレークシールはいっこいっこデザインとめんどうな切り取りのどりょくでできたお金です。りかいおねがいします

商品イメージ



この三こ! よろしくお願いします!!! シール素敵ですね! ただ、お店以外で困っている人や応援したい人のために使ってくれたら嬉しいです。 いかがでしょうか?



駄菓子屋さんの気持ちを 受け取って、幼稚園に本 をおくることにしました。



プロジェクトの結果



結果:成功

- 商品22こ作って17個売れた
- •1000円以上目標で1020円売れ た
- ・駄菓子屋さんの気持ちを受け取っ て、幼稚園に本をおくった

プロジェクトで苦労したこと



苦労したこと

苦労①:商品の作成

苦労②:呼び込み

苦労③:スライドの文を書くこと

①役割を分担する ②皆で声を揃えて「いらっしゃいませ」 と言う ③協力する

プロジェクトを通して関わった人

駄菓子屋さん 幼稚園・保育園のみなさん お商売にきてくれた人

プロジェクトを通して学んだこと

学び①

作って売る準備が大変だということが学んだ

学び②

お客さんがお店に入るまでに工夫が必要だとわかった

学び③

100こ最初はつくれると思ってた。計画が大事。